

指定管理者通期モニタリング
実施結果

令和3年9月
府中市

目次

市民活動センター	1
府中駅南自転車駐車場	2
府中の森芸術劇場分館	3

市民活動センター指定管理者通期モニタリング評価シート

1 指定期間

平成29年4月1日から令和4年3月31日まで（5年間）

2 各年度の定期モニタリング評価結果

定期モニタリング実施年度	I：市民サービスの提供	II：事業展開等	III：施設の適正な管理	IV：定期モニタリング総合評価
平成29年度	—	—	—	—
平成30年度	B	D	B	B
令和元年度	B	B	B	A
令和2年度	B	B	B	A
令和3年度	B	B	B	A

3 指定期間を通じた総評

（主な取組と成果）

平成29年度の開館と同時に指定管理者として運営が開始され、安定した施設管理と専門性の高い市民活動・協働推進事業の実施を行い、おおむね市民からも良い評価が得られている。

施設稼働率は、平成30年度74.8%、令和元年度76.9%と、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前は高い水準を維持していた。また、中心市街地の交流拠点となるべく立ち寄りやすい雰囲気作りに努めた成果として、来館者数は、平成30年度1,173,655人、令和元年度1,241,447人と、有料施設利用者だけではなく多くの市民が来館した。

市民活動の支援については、各種講座・イベント・相談等の成果として、センター登録団体数を令和元年度末時点で486団体と大幅に増やすことができ、市民活動団体の裾野拡大に貢献した。

新型コロナウイルス感染症への対応については、積極的にオンラインを取り入れるなど、他市に先駆けた取組を行い市民活動や協働の停滞防止に努めるとともに、状況や市民ニーズに応じた柔軟な対応ができています。

（課題等）

第1期において注力した、市民活動実践者の裾野拡大（無関心層／関心層へのアプローチ）については、引き続きイベントや講座の開催等を継続するとともに、これまでセンターに関わりの少なかった、例えば中心市街地から遠いエリアに住む方等や地縁組織との交流・連携により、更なる裾野拡大が求められる。また、既に活動している市民活動団体については、活動を継続・発展させていくためのスキルアップ等の支援が求められる。

さらに、次の時代の協働を推進するためには、SDGsや社会的インパクト・マネジメントなどの新たな概念や他セクターの動向を知る必要があり、時代に応じた中間支援機能の強化・スキルアップが求められる。

有料貸出施設に関しては、料理室の稼働率が低い傾向にあることから、稼働率向上施策等の取組が求められる。

（今後の展開等）

今後も、引き続き民間活力を活かした施設運営を行うため、指定管理者制度を継続する。

中心市街地の交流の拠点施設となるべく、コミュニティマネージャーの配置や各種イベント等の工夫により、人と人との繋がりづくりや社会貢献意識の醸成に加え、施設の魅力を高め、にぎわいの創出に努める。

市民活動や協働の推進に関しては、人に寄り添う人間力や、中間支援の専門性を活かし、市民ニーズや時代に即した支援を展開することで、適切なマッチング及び成果の高い協働事業の創出等の効果を上げることが期待される。

また、民間の創意工夫により、稼働率向上を含む収入の増加に向けた方策や、支出節減に向けた取組を行い、施設経費を削減していくことが期待される。

府中駅南自転車駐車場指定管理者通期モニタリング評価シート

1 指定期間

平成29年7月1日から令和4年3月31日まで（5年間）

2 各年度の定期モニタリング評価結果

定期モニタリング実施年度	I：市民サービスの提供	II：事業展開等	III：施設の適正な管理	IV：定期モニタリング総合評価
平成29年度	—	—	—	—
平成30年度	B	B	B	A
令和元年度	B	B	B	A
令和2年度	B	B	B	A
令和3年度	B	B	B	A

3 指定期間を通じた総評

（主な取組と成果）

これまでに各地で多くの自転車駐車場の経営を行ってきた実績を生かし、適正な管理運営を実施している。具体的な取り組みとしては、利用者アンケートやご意見箱の設置による利用者の要望吸い上げ、場内エリア満空盤や自動空気入れ、姿見鏡の設置等を行い、利用者の利便性向上に努めた。またホームページへの掲載等を通じて、利用者の増加を図った。

（課題等）適正な管理運営を続けているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、厳しい経営となっている。令和3年度に新商業施設であるミッテン府中のオープンを迎え、利用者は増加傾向にあるが、より多くの利用者の獲得のため、引続き現地の声を大事にしながら事業展開を行っていく必要がある。また、施設の維持管理に努め、必要に応じて適切な維持・修繕を行っていくことが求められる。

（今後の展開等）自転車の利用形態は多様になっているので、周囲の状況に注視しながら、安定した管理運営を行っていく。また新商業施設のミッテン府中がオープンし、より一層多くの利用者に当自転車駐車場を利用してもらうため、利用者の視点に立ち、多様なニーズに合わせた取り組みを行っていく。

府中の森芸術劇場分館指定管理者通期モニタリング評価シート

1 指定期間

平成29年4月1日から令和4年3月31日まで（5年間）

2 各年度の定期モニタリング評価結果

定期モニタリング実施年度	I：市民サービスの提供	II：事業展開等	III：施設の適正な管理	IV：定期モニタリング総合評価
平成29年度	—	—	—	—
平成30年度	B	A	B	A
平成31年度（令和元年度）	B	A	B	A
令和2年度	B	B	A	A
令和3年度	B	B	A	A

3 指定期間を通じた総評

（主な取組と成果）

府中の森芸術劇場分館（指定管理者 公益財団法人府中文化振興財団）は、市民の芸術文化活動の振興を図るために設置された施設である。府中駅に近い立地を生かし、市内芸術文化団体に活動の場を提供することができた。また、当初想定された音楽練習室としての利用に加え、ヨガやリトミック等様々なジャンルの市民団体にも利用されており、市民の余暇活動の充実にも寄与することができた。

令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で稼働率が落ち込んだものの、利用者の安心・安全を最優先した運営を行い、利用者からも評価された。

（課題等）

開館から5年を迎え、今後も安全で快適にご利用いただけるよう、長期的な視点を取り入れた計画的な施設の維持管理に取り組む必要がある。

また、高い稼働率を維持するために、アンケート調査等を利用して多様化するニーズを把握し、事業展開に反映していく必要がある。

（今後の展開等）

今後も引き続き市民の芸術文化団体の活動の場としての役割を果たすために、同様の目的をもって設置された府中の森芸術劇場と一体的な事業展開を行う必要がある。また、施設の維持管理については、日頃からの適正な施設管理に努めるとともに、長期的な修繕計画を立てていく必要がある。